

《開幕》

森美術館15周年記念展

六本木クロッシング2019展： つないでみる

2019年2月9日(土)～5月26日(日) 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

日本の現代アートの今を見せたい！

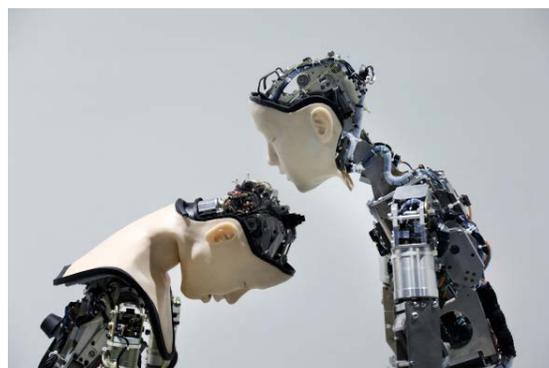
「六本木クロッシング」は森美術館が3年に一度、日本の現代アートシーンを総覧する定点観測的な展覧会として2004年以来開催してきたシリーズ展です。第6回目の開催となる今回は、シリーズ初の試みとして、森美術館の3人のキュレーターで共同キュレーションを行い、1970-80年代生まれを中心とした日本のアーティスト25組を紹介します。

「六本木クロッシング2019展：つないでみる」は、現代の表現を通して見えてくる「つながり」に注目します。情報通信技術など、さまざまなテクノロジーが加速度的に進化し、私たちの生活が便利になってゆく一方で、それに起因する新たな問題も浮かび上がっています。価値観の多様性が認められるようになった一方で、オープンであるはずのインターネットが、特にSNSにおいて、意見や認識の同調や共感を助長し、逆説的に閉鎖的なコミュニティを生み出してしまう問題、偏った政治観によって引き起こされる軋轢や拡がり続ける経済格差など、さまざまな「分断」が顕在化しているようです。

こうしたなか、対極のものを接続すること、異質なものを融合すること、本来備わっている繋がりを可視化することなど、アーティストたちは作品を通じてさまざまな「つながり」を提示します。それらは現代社会に対する批評的な視点や発想の転換でもあり、「分断」と向き合う為のヒントとなるかもしれません。新たな「つながり」を通して、本展が日本の今に向き合う有意義な機会となることを期待します。



アンリアレイジ 《プリズム》 2018年 綿 ※参考図版



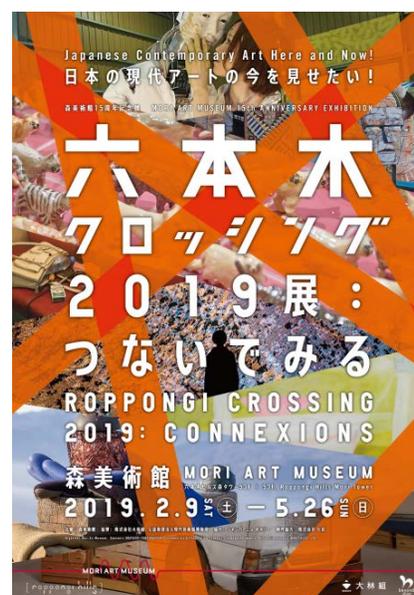
土井 樹+小川浩平+池上高志+石黒 浩×ジュスティーン・エマール
《機械人間オルタ》
2016年-
ジュスティーン・エマール 《ソウル・シフト》 2018年 ビデオ 6分

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

■ 出展アーティスト ※アーティスト、アーティスト・グループの姓のアルファベット順

アンリアレイジ	2003年設立、東京拠点(森永邦彦:1980年東京生まれ)
青野 文昭	1968年宮城生まれ、宮城在住
万代 洋輔	1980年東京生まれ、東京在住
土井 樹+小川浩平+池上高志+石黒 浩×ジュスティーン・エマール	(土井 樹:1989年兵庫生まれ/小川浩平:1982年愛知生まれ/池上高志:1961年長野生まれ/石黒浩:1963年滋賀生まれ/ジュスティーン・エマール:1987年クレルモン=フェラン(フランス)生まれ)
毒山 凡太郎	1984年福島生まれ、東京在住
榎本 耕一	1977年大阪生まれ、神奈川在住
花岡 伸宏	1980年広島生まれ、京都在住
林 千歩	1988年愛知生まれ、神奈川在住
平川 紀道	1982年島根生まれ、東京在住
ヒスロム	2009年結成、京都拠点
飯川 雄大	1981年兵庫生まれ、兵庫在住
今津 景	1980年山口生まれ、バンドゥン(インドネシア)在住
磯谷 博史	1978年東京生まれ、東京在住
川久保 ジョイ	1979年トレド(スペイン)生まれ、ロンドン在住
前田 征紀	1971年生まれ、京都在住
前谷 開	1988年愛媛生まれ、京都在住
目	2012年結成、埼玉拠点
佐藤 雅晴	1973年大分生まれ、茨城在住
杉戸 洋	1970年愛知生まれ、愛知/東京在住
竹川 宣彰	1977年東京生まれ、埼玉在住
田村 友一郎	1977年富山生まれ、静岡在住
土屋 信子	神奈川生まれ、神奈川在住
津田 道子	1980年神奈川生まれ、神奈川/東京在住
佃 弘樹	1978年香川生まれ、東京在住
山内 祥太	1992年岐阜生まれ、神奈川在住



■ 開催概要

展覧会名: 六本木クロッシング2019展: つないでみる

主催: 森美術館

協賛: 株式会社大林組、公益財団法人現代芸術振興財団 **協力:** シャンパーニュ ポメリー **制作協力:** 株式会社 七彩

企画: 椿 玲子(森美術館キュレーター)、徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)、熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

会期: 2019年2月9日(土) - 5月26日(日) **会場:** 森美術館(東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階)

開館時間: 10:00-22:00(火曜日のみ17:00まで) *入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休

*ただし4月30日(火)は22:00まで *「六本木アートナイト2019」開催に伴い、5月25日(土)は翌朝6:00まで開館延長

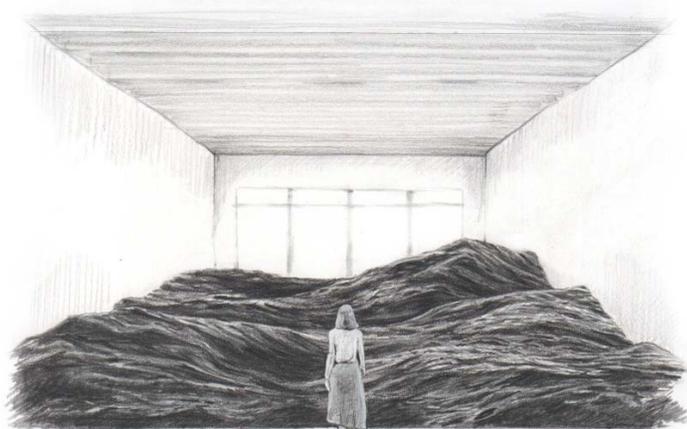
入館料: 一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳-中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 *表示料金に消費税込 *本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) *スカイデッキへは別途料金がかかります

一般のお問い合わせ: Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

プレスリリース お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

■ 本展を紐解く3つの鍵

国内の芸術祭や展覧会で活躍するアーティストユニット、目による新作大型作品《景体》や、現代の情報社会のあり方を批評的に表現した飯川雄大の《デコレータークラブ》など、さまざまなジャンルのアーティストが日本の「いま」を映し出します。



(上) 目 《景体》のためのドローイング 2019年

(右) 飯川雄大 《デコレータークラブ—ピンクの猫の小林さん—》
2017年 木材、蛍光塗料 400×540 cm
展示風景：「ゲンピどこでも企画公募2017展」広島市現代美術館



【1】テクノロジーを確かめてみる

扱うには専門的な知識や経験が必要とされる最新のテクノロジーですが、アーティスト達は最新の技術や理論を独自の方法で使い、これまでにない実験的な作品や表現を創り出します。森永邦彦が率いるファッションブランドのアンリアルレイジは、東京大学の川原研究室とコラボレーションし、人の体温で形状が変化する、低沸点液体を使った新しい服のあり方を提案します。平川紀道の《datum》は、ありふれた風景画像を独自のアルゴリズムで変換することで、数学理論的に考え得る多次元空間を表現しています。林千歩の映像作品《人工的な恋人と本当の愛》は、最新のテクノロジーを直接用いているわけではありませんが、人間の短所や情けない性質を備えるAIロボットのユーモア溢れる愛の物語を描くことで、AIや人工生命の最先端の研究と同じように、私たちの生命や人間性の定義について考えることを促します。



平川紀道
《datum》2018年
DLPプロジェクター、コンピューター、スピーカー サイズ可変
※参考図版



林千歩
《人工的な恋人と本当の愛 - Artificial Lover & True Love -》2016/2019年
ミクスト・メディア・インスタレーション サイズ可変 ビデオ：4分30秒
音楽：渋谷慶一郎 作詞：渋谷慶一郎、林千歩 歌：林千歩

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局（共同ピーアール内）：津原、田ヶ谷、伊藤
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

[2] 社会を観察してみる

社会学的な視点から世の中や身の回りで起きていることを観察することで、そこに潜む事実やまったく新しい発見を導き出すアーティストの視線に注目します。竹川宣彰の《猫オリンピック：開会式》は、猫たちが無邪気にスポーツの祭典に興じる愛らしい様子を通じて、東京オリンピックに沸く現代日本を普段とは違う視点から考えるきっかけを与えてくれます。田村友一郎の《MJ》は、マイケル・ジャクソンが来日した時のエピソードに着想を得て、現代のポップカルチャーに潜むカリスマや神聖化されるアイコンに迫っています。榎本耕一の絵画は、神話から史実やポップカルチャーを混合したハイブリッドで軽快な作品で、その激しい表現の中には、生きることや何気なく受け入れている日常に対する真摯な視線を感じることができます。



(左)
竹川宣彰
《猫オリンピック：開会式》(部分)
2017年
陶製人形、木、鉄、陶製タイル
95×421.3×302 cm
展示風景：「猫オリンピック：トラジロウの思い出」
オオタファインアーツ(上海)
2017年
Courtesy: Ota Fine Arts, Tokyo
撮影：ポヨン・ドロン

(右)
榎本耕一
《脳の居場所》
2017年
油彩、キャンバス
162×130 cm
Courtesy: TARO NASU, Tokyo

[3] ふたつをつないでみる

アーティスト達は、思いもよらないものを繋げてみることで、新しい視点を提示し、これまでにない価値を作り出すことができます。万代洋輔は、不法投棄されたゴミなどを組み合わせ、神々しいオブジェを作ります。それを被写体とした写真は、俗と聖が混在する不思議で魅力的な作品となっています。青野文昭は、古く使えなくなった車や家具など様々なものを組み合わせ、新しい生命力を秘めるような彫刻作品を作ります。ものを直すという行為が、本来の物そのものとはまったく別の新しい物質、新しい価値を生み出しています。



万代洋輔
《無題》(「蓋の穴」シリーズより)
2018年
Cプリント 84.8×105.5 cm
Courtesy: TARO NASU, Tokyo



青野文昭
《なおよす・代用・合体・侵入・連置「震災後東松島で収集した車の復元」2013》
2013年
収集物、家具、合板、アクリル系絵具、ほか 500×540×180 cm
所蔵：アラリオミュージアム(韓国)
展示風景：「あいちトリエンナーレ2013」 撮影：怡土鉄夫 ※参考図版

広報画像は下記の画像申請フォームより申請願います
<https://goo.gl/D6S82E>

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

?! 展覧会関連プログラム

■トークセッション「アーティストをつないでみる」 ※日英同時通訳、手話同時通訳付

ファッションや神話、歴史、個人史、あるいは社会や経済など、さまざまな領域とアートを繋いで表現するアーティストと、各専門領域で研究、批評活動を行う有識者をゲストに迎えます。3部構成の連続するアーティストとの対話から、本展のテーマである「つないでみる」を読み解きます。

出演：*は本展出展アーティスト

第1部：森永邦彦(アンリアレイジ)*、土屋信子*、

蘆田裕史(京都精華大学専任講師、ファッション研究)、椿 玲子(森美術館キュレーター)

第2部：榎本耕一*、川久保ジョイ*、長谷川 新(インディペンデント・キュレーター)、

徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)、

第3部：津田道子*、山内祥太*、中尾拓哉(美術評論家)、熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

日時：2019年2月9日(土)15:00-18:00 (受付開始：14:30)

会場：森美術館オーデトリウム

定員：80名(要予約)

料金：無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

一般のお問い合わせ：森美術館 ラーニング担当 Tel:03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351

E-mail: mam-learning@mori.co.jp

■国立新美術館「第21回DOMANI・明日展」×森美術館「六本木クロッシング2019展」連携プログラム トークセッション「世界を舞台にアーティスト活動をするとは？」 ※日本語のみ

「DOMANI・明日展」、「六本木クロッシング展」の両シリーズ展に参加経験がある志村信裕と田村友一郎を迎え、前半のプレゼンテーションでは、海外でのレジデンスを経て日本人アーティストとして活動してきたふたりのこれまでの創作活動を紹介します。後半のディスカッションでは、『現代アートとは何か』の著者として知られる小崎哲哉氏と「第21回DOMANI・明日展」、「六本木クロッシング2019展」両展の担当スタッフが加わり、これからの日本のアートシーンについて語り合います。

出演：田村友一郎(本展出展アーティスト)、志村信裕(「第21回DOMANI・明日展」出展アーティスト)、

小崎哲哉(ジャーナリスト/アートプロデューサー)、林 洋子(文化庁 芸術文化調査官)、椿 玲子(森美術館キュレーター)

日時：2019年2月16日(土)14:00-16:00

会場：国立新美術館 企画展示室2E イベントスペース

定員：50名

料金：無料(ただし、当日有効の「DOMANI・明日展」チケットが必要です)

お申し込み：当日先着順

一般のお問い合わせ：※施設に関するお問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

※プログラムに関するお問い合わせ

「DOMANI・明日展」広報事務局(アート・ベンチャー・オフィス ショウ内)

Tel: 03-3485-7866(平日 10:00-18:00) FAX: 03-3485-7851

E-mail: avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

プレスリリース お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内)：津原、田ヶ谷、伊藤
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

国立新美術館「第21回DOMANI・明日展」×森美術館「六本木クロッシング2019展」連携プログラム トークセッション2「アートの実践を通じて、2021年以後を考える」※日本語のみ

本展出展作品《猫オリンピック》で、東京オリンピックへの批評的な問いを投げかける竹川宣彰と、山形を拠点に活動し、これからの都市と地方の関係について考察する三瀬夏之介を迎え、2020年に向けてますます東京への一極集中化が進むなか、ふたりのアーティストの異なる視点から2021年以後の日本を考えます。

出演: 竹川宣彰(本展出展アーティスト)、三瀬夏之介(「第21回DOMANI・明日展」出展アーティスト)、
徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

日時: 2019年3月2日(土)14:00-15:30(受付開始:13:30) **会場:** 森美術館オーディトリウム **定員:** 80名(要予約)

料金: 無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です)

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

一般のお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当 Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351

E-mail: mam-learning@mori.co.jp

「六本木アートカレッジスペシャルIDAY」プログラム 「会社としてのアーティスト・コレクティブ」※日本語のみ

近年、「アートシンキング」や「デザインシンキング」などの言葉が広まり、ビジネスでもアートへの期待が高まっています。本プログラムでは、アーティスト^{コレクティブ}「目」のメンバーを迎え、本展のための新作《景体》の制作過程について紹介しながら、コレクティブとしての活動がいかに企業体として機能し、これまでの社会システムに揺さぶりをかけ、新たな「会社」のあり方の可能性を提示しているかについて語り合います。

出演: 目(南川憲二、荒神明香、増井宏文:本展出展アーティスト) **モデレーター:** 徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

日時: 2019年3月21日(木・祝)14:40-15:40 **会場:** アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

※本プログラムは、「六本木アートカレッジスペシャルIDAY」トークセッションの一つです。ご参加には、事前のお申し込みが必要です。

【六本木アートカレッジ開催概要】

日時: 2019年3月21日(木・祝)12:00-17:00 ※交流会 17:20-18:20

参加費: 1日券4,000円 ※交流会付き5,500円(税込) **定員:** 600名(内、交流会付き200名)

お申し込み: <https://rac20190321.peatix.com/> **主催:** アカデミーヒルズ **協力:** 森美術館

一般のお問い合わせ: アカデミーヒルズ スクール事務局 Tel: 03-6406-6200(平日10:00-18:30)

E-mail: school@academyhills.com

■キュレーターによるギャラリートーク ※日本語のみ

本展担当キュレーターまたはラーニング・キュレーターが、展示室内でツアー形式のトークを行います。

日時: 第1回 2019年2月20日(水)19:00-20:00 ゲスト: 林 千歩(本展出展アーティスト)

第2回 2019年3月 6日(水)14:00-15:00

第3回 2019年3月20日(水)19:00-20:00 ゲスト: 寿山凡太郎(本展出展アーティスト)

第4回 2019年4月 3日(水)14:00-15:00

第5回 2019年4月24日(水)19:00-20:00 ゲスト: 磯谷博史(本展出展アーティスト)

第6回 2019年5月15日(水)14:00-15:00

会場: 森美術館展示室内 **定員:** 各回30名程度

料金: 無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です)

お申し込み: 不要(当日先着順、展覧会会場入口にお集まりください)

一般のお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当 Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351

E-mail: mam-learning@mori.co.jp

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

森美術館×東京大学大学院教育学研究科岡田猛研究室 触発と創造のための芸術鑑賞ワークショップ・シリーズ ワークショップ「猫になって猫オリンピックの開会式に行こう」※日本語のみ

アーティストの竹川宣彰を迎え、出展作品《猫オリンピック》をテーマにワークショップを開催します。作品を鑑賞後、制作にまつわる話を聞き、招き猫を用いた作品を制作したり、参加者自身がメイクアップして猫になり、「猫オリンピック」の開会式を体験します。

出演: 竹川宣彰(本展出展アーティスト) **日時:** 2019年3月3日(日)11:00-15:00(受付開始:10:30)

会場: 森美術館オーデトリウム **定員:** 15名(要予約・先着順) **対象:** 子どもから大人までどなたでも

料金: 参加者1名につき1,000円 **お申し込み:** 受付は終了しました。

主催: 森美術館、東京大学大学院教育学研究科岡田猛研究室

一般のお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当 Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00)

Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

●まちと美術館のプログラム

■「アート・キャンプ for under 22 Vol.2」※日本語のみ

森ビルと森美術館は、世界各地のアーティストとコラボレーションし、美術館や街のなかでさまざまなプログラムを実施してきました。2018年夏よりスタートした「アート・キャンプ」は、15歳から22歳の若い世代を対象とし、美術館やヒルズの街全体をキャンパスに、アーティストやキュレーターといっしょに「現代アート」について語りあうプログラムです。第2回目となる今回は、「アートとファッション」をテーマにプログラムを開催します。

日程: ※全4回のプログラムとなりますが、第3回のワークショップのみの参加も可能です。

第1回: 2019年2月9日(土)11:00-18:00

第2回: 2019年2月16日(土)10:00-12:30

第3回: 2019年3月9日(土)10:00-18:00 および3月10日(日)13:30-18:30

第4回: 2019年4月頃 ※第1回~第3回の全プログラムに参加された方を対象に開催予定。詳細は後日該当者にご案内します。

定員: 15名(要予約・抽選) **対象:** 15歳から22歳まで

料金: 全日程参加の場合:3,000円、第3回のワークショップのみ参加の場合:2,000円

(いずれも「六本木クロッシング2019展」チケット料金を含む)

詳細・お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

一般のお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当 Tel:03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351

E-mail: mam-learning@mori.co.jp

●ファミリープログラム

■おやこでアート ファミリーアワー

0歳から6歳のお子さまと一緒に、森美術館へ出かけませんか?開館前の美術館を貸し切り、小さなお子さまと安心して鑑賞いただけます。現在妊娠中のプレママもぜひご参加ください。ご家族との週末のお楽しみに、子どもたちとの交流に、子育ての情報交換に、「六本木クロッシング2019展」を自由にお楽しみください。

日時: 第1回 2019年3月2日(土)9:15-10:30

第2回 2019年5月18日(土)9:15-10:30

会場: 森美術館展示室内 **対象:** 未就学児(0~6歳)とご家族、現在妊娠中の方とご家族

定員: 各回80組(要予約・先着順) **料金:** 無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です)

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

※ベビーカーや抱っこひもで赤ちゃんと一緒に自由にご鑑賞ください。

※9:35より、美術館スタッフが展示室内でいくつかの作品をご紹介します(日本語のみ)。参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください。

※10:00より一般のお客さまも入館します。ご了承ください。

プレスリリース お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

●アクセスポログラム

■耳でみるアート ※日本語のみ

視覚に障がいがある方を対象とした、スタッフとの対話を通して作品を楽しむツアーです。

本プログラムは見える見えないにかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

日時: 2019年4月20日(土) 10:00-12:00 **会場:** 森美術館展示室内 **対象:** 一般 **定員:** 10名(要予約)

料金: 無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です。なお、障がい手帳をご持参の方と介助者1名はチケットが不要[入館無料]です。)

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum/ / Tel: 03-6406-6101(月~金 11:00~17:00)

■手話ツアー ※日本語のみ

手話と言葉で展覧会を楽しむツアーです。手話をお使いにならない方も気軽にご参加ください。

日時: 第1回 2019年4月20日(土) 15:00-16:30

第2回 2019年5月18日(土) 15:00-16:30

会場: 森美術館展示室内 **対象:** 一般 **定員:** 各回10名(要予約)

料金: 無料(ただし、当日有効の「六本木クロッシング2019展」チケットが必要です。なお、障がい手帳をご持参の方と介助者1名はチケットが不要[入館無料]です。)

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum/ / Fax: 03-6406-9351

●スクールプログラム

■学校と美術館のためのプログラム ※日本語のみ

展覧会の紹介とともに、現代アートと子どもたちの学びについて先生と美術館スタッフがディスカッションします。図工や美術のみならず、美術館の活用に関心を寄せていただいている他教科の先生もぜひご参加ください。

日時: 2019年3月15日(金) 19:00-21:00 **会場:** 森美術館展示室内

対象: 保育園、幼稚園、小・中学校、高校、大学、専門学校の先生 **定員:** 10名(要予約) **料金:** 無料

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

■とびだす学校ツアー

作品鑑賞を子どもたちや学生たちの学びに取り入れてみませんか?授業などの一環として展覧会をご覧いただくツアーです。希望日の4週間前までに以下へお問い合わせください。事前に先生とご相談のうえ、日程や内容を決定します。

対象: 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校

人数: 1回50名まで(ギャラリートークの場合)※それ以上の人数はガイドンスやレクチャーなどでご相談に応じます。

料金: 保育園、幼稚園、小学校、中学校: プログラム費無料、入館料無料

高等学校: プログラム費無料、入館料1人500円 **大学、専門学校:** プログラム費無料、入館料1人1,000円

※引率者はいずれも無料

お申し込み: 参加をご希望の場合は、電話・FAXまたはメールにて、森美術館ラーニング担当宛てに下記項目をお知らせください。

・学校名、学年、人数、ご連絡先

・ご希望の来館日時(複数の候補をお知らせください)

※出演者や予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※会期中、このほかのプログラムの開催も予定しております。詳細は随時ウェブサイトでご案内いたします。

ファミリープログラム、アクセスポログラム、スクールプログラムに関する一般のお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

関連情報

■ 展覧会カタログ

執筆者：

【論考】

椿 玲子(森美術館キュレーター)、徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)、熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

【ショート・エッセイ】

小崎哲哉(ジャーナリスト/アートプロデューサー)、クレリア・ゼルニック(美術批評家/フランス国立高等美術学校教授/哲学者)、長谷川 新(インディペンデント・キュレーター)

サイズ: A4変型 頁数: 約240頁 言語: 日英バイリンガル 価格: 2,900円(税込) 制作・発行: 森美術館/美術出版社
発売日: 2019年3月下旬予定

■ 音声ガイド

本展の音声ガイドでは日本人モデルとして世界的に活躍する秋元梢さんがナビゲーターを務めます。

ガイド件数: 全15件 解説時間: 約20分 料金: 500円(税込) 企画・制作: アコースティガイド 監修: 森美術館

秋元梢さんコメント

「初挑戦となった展覧会の音声ガイドナレーションですが、東京を代表する現代美術館である森美術館ならではの、エッジの効いたユニークな現代アート展で携わることができ、とても光栄です。展覧会のテーマが『つながり』ということですが、SNSが普及しているいま、作品を創る人、それを撮る人という新たな関係性が生まれ、クリエイションが広がっているようで、とても面白い世の中になっているな、と思います。私自身、ファッションという表現が活動の中心にありながら、ラジオのパーソナリティーなど言葉を媒体とする表現や、バックグラウンドを含めてさまざまな『つながり』から生まれる可能性を実感しています。また、今回は、ファッションの領域からも作品が展示されるということで、アートとファッション、どんな化学反応が生まれるのか、今からとても楽しみにしています。」

プロフィール

2011年にHERMESの広告に日本代表のモデルとして出演後、モデルとしてモードからストリートまで幅広いジャンルで活躍。2015年にはOlympia Le Tan(オランピア・ル・タン)のファッションステージでパリ・コレデビューし、ファッション誌「VOGUE JAPAN」(同年8月号)では、豪華著名人とともに表紙を飾った経験を持つ。また現在、大手化粧品メーカー・資生堂の最高級ライン「クレ・ド・ポー ポーテ」のWEBムービーにアジア人として初めて起用され、スーツケースブランドのSamsoniteのアジア全体のイメージモデルに抜擢されるなど、現在世界的に活躍している。



プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

■「つないでみる割」

本展のコンセプトである「異なるもの、対極のものをつないでみる」にちなんだ入館料割引「つないでみる割」を実施します。「六本木クロッシング2019展」と同じ2月9日に開幕する、場所もジャンルも異なる国内複数の展覧会をつないでみる企画です。下記の展覧会チケットの実券、割引券や招待券のご提示で、「六本木クロッシング2019展」をちょっとお得に鑑賞いただけます。

割引対象：下記展覧会のチケット類(実券、招待券、割引券)をご提示の方

【割引対象の展覧会】

「奇想の系譜展 江戸絵画ミラクルワールド」

会場：東京都美術館(東京) 会期：2019年2月9日(土)-4月7日(日)

「クリスチャン・ボルタンスキー — Lifetime」

会場：国立国際美術館(大阪) 会期：2019年2月9日(土)-5月6日(月・休)

「愉しき源氏絵—土佐光吉と浮世絵版画から—」

会場：和泉市久保惣記念美術館(大阪) 会期：2019年2月9日(土)-3月24日(日)

「三井家のおひなさま」

会場：三井記念美術館(東京) 会期：2019年2月9日(土)-4月7日(日)

割引内容：一般100円引き(一般1,800円⇒1,700円)

※森美術館チケットカウンターにてご提示ください。

※本割引は、一回のご提示につき、一般1名様に限ります。

※「六本木クロッシング2019展」会期中のみ有効です。

※他の割引との併用はできません。

※森美術館のみでの割引となります(各展との相互割引ではありません)。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館広報事務局(共同ピーアール内)：津原、田ヶ谷、伊藤

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル